

# 青ジソ(大葉)・赤ジソ



## 育苗

地床の施肥  
(播種床・移植床とも)



地床の場合/1アール当り

- ラクトバチルス60g ●堆肥200~300kg
  - 硫安3kg(チッソ成分0.6kg) ●畑の大将<青> 3kg
- これらを散布して耕しておく。

## 育苗中

セル・トレイは培養土を使用



●培養土の3%の畑の大将<赤>を入れる。

葉上から散水



- 根っ酵素1000倍液を適宜灌水  
(肥切れ時はアミノ酸液1000倍)
  - 花咲くCa液1000倍液を適宜灌水4日ごと交互に
- ※本葉4枚、定植7日前頃、花咲くCa液500倍液を散布

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
本圃の地力作り	なるべく早い時期に全面散布して耕起しておき、その後にベッドを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラクトバチルス600g</li> <li>→排水・通気・保水・保肥性のよい肥沃な土に。</li> <li>●堆肥2~3トン(なるべく多く)</li> <li>●硫安60kg(複合肥料ならチッソ成分12~16kg)</li> <li>●畑の大将&lt;青&gt; 40kg(特に土壌pHが酸性の場合は増量)</li> <li>※もし堆肥が少ない場合は、硫酸カリ30kg追加。</li> </ul>
本圃の整地後	整地・ベッド作り後に、ベッド上に散布	<ul style="list-style-type: none"> <li>●畑の大将&lt;青&gt; 40kg</li> <li>※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将&lt;赤&gt;を施す。</li> <li>※カルシウムの施用量は普通、地力作り時の全層混和とベッド上の施用を合計して80kg(硫安量と同じ)にする。</li> <li>●硫安20kg</li> <li>→初期生長を速く進める。特に秋冬の定植には効果的。</li> </ul>
定植時	定植直後の灌水の時に	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根っ酵素3ℓ(500倍程度、適宜)</li> <li>→初期の根張り促進。</li> </ul>
定植後20日間	初期の根張りとは質強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根っ酵素 ●花咲くCa液</li> <li>※7日ごと交互に葉面散布(各500倍)、または灌水。(2ℓ)</li> </ul>
20~30日	収穫開始前の調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>●花咲くCa液500倍を葉面散布。</li> </ul>
収穫中 (液肥の場合)	①②を7日おき交互に定期施用	<ul style="list-style-type: none"> <li>①根っ酵素2ℓ+アミノ酸液20ℓ 灌水</li> <li>②花咲くCa液500倍で葉面散布または灌水時、原液2ℓ</li> <li>生育状態により適宜増減。摘み取り量の多い時は、両方多く。</li> </ul>
収穫中 (追肥の場合)	1月1回 ※同時施用が効果的	<ul style="list-style-type: none"> <li>●硫安20kg</li> <li>●畑の大将&lt;青&gt; 20kg</li> <li>生育状態により適宜増減。摘み取り量の多い時は半月毎に。</li> <li>※追肥で調節する場合も、根っ酵素(根の強化液)と花咲くCa液の葉面散布は、半月ごとに使用する事。</li> </ul>

### 根っ酵素液の効果

- 根を強化し、チッソ等の肥料の同化(消化)力も強くなる。
- 持続して旺盛に分枝・新葉を伸ばす。
- 葉は青ジソなら鮮緑色で大きく、縮みが多く、葉縁の欠刻も深くなる。

### カルシウム・畑の大将<青>・花咲くCa液の効果

- 葉の厚み・重みを増す。
- 灰色カビ・菌核に強い。
- 香りが強く、ビタミン・精油成分が豊富で、日持ちがする。